

北九州市物流シンポジウム

「物流の2024年問題」の影響と北九州市が果たすべき役割

日 時 令和7年1月30日（木）14：30～17：10

場 所 北九州国際会議場 メインホール（北九州市小倉北区浅野3-9-30）

主 催 北九州市

後 援 九州運輸局、九州経済産業局、北九州商工会議所

次 第

開 場 13：45～

開 会・主催者挨拶 14：30～14：40 北九州市副市長 片山 憲一

第一部 基調講演 14：40～15：50

1. 【仮題】物流の2024年問題の現状と今後（30分）

株式会社NX総合研究所 シニアコンサルタント 峯 猛 氏

2. 【仮題】荷主／着荷主の立場から考える『物流24年問題』への対応と今後の課題（40分）

トヨタ自動車九州株式会社 生産企画本部長 原田 聡 氏

休 憩 15：50～16：00

第二部 パネルディスカッション 16：00～17：10

「ポスト2024年と物流拠点都市北九州市」

（モデレーター） 株式会社MK総合研究所 代表取締役所長 幕 亮二 氏

（パネリスト） シービーアールイー株式会社 アソシエイトディレクター

伊藤 憲一 氏

オオサキメディカル株式会社 DX推進部次長 西室 周並 氏

小倉運送株式会社 取締役 増井 敏一 氏

株式会社NX総合研究所 シニアコンサルタント 峯 猛 氏

閉 会 17：10

登壇者 御略歴（敬称略）

第一部

峯 猛（みね たけし）

1993年株式会社日通総合研究所（当時）入社。主に自動車や鉄道といった陸運関係の調査業務に従事。鉄道貨物輸送についての需給バランスの検討など、モーダルシフト促進の業務も担当。国土交通省の統計である「全国貨物純流動調査」にも従事し、多様な産業の多様な輸送モード利用全般に精通。

原田 聡（はらだ さとる）

1986年キャノン株式会社入社を経て、1992年よりトヨタ自動車九州に勤務。新型車の立上げ、車両ユニットの内外製等の生産企画を担当し2013年より「調達物流改革」に取り組み、船から陸へのモーダルシフトやミルクランの導入を実施。現在は調達担当として域内調達の拡大やBCP時のサプライチェーン改善を推進中。日本ロジスティックシステム協会会員。

第二部

伊藤 憲一（いとう けんいち）

不動産勤務を経て2007年シービーアールイー株式会社入社。入社以来インダストリアル&ロジスティクスサービスGrに従事。物流施設・工場等の賃貸・売買仲介、産業団地計画のプロジェクト参加等、九州・福岡の物流全般に従事し18年。2020年から部門のリーダーとなりチームを率いている。

西室 周並（にしむろ しゅうへい）

準大手建設会社勤務を経て2002年オオサキメディカル株式会社入社。営業事務・営業・システム部門等を経験後、購買・物流業務に従事。会社の成長と共に必要となった新設の工場・物流センター等の企画・建設・立ち上げ・運営を担当し、現在システム・SCM・CRM部門を統括する。

増井 敏一（ますい としかず）

2021年に小倉運送株式会社に入社し、2022年より現職に従事。小倉運送の強みであるモーダルシフトで、物流業界が直面する「2024年問題」などの課題解決に取り組む。加えて、近年では中国や韓国に近い地理的優位性を持つ北九州市のポテンシャルを活かした越境EC物流の可能性を模索している。

司会・モデレーター

幕 亮二（まく りょうじ）

株式会社三菱総合研究所空港民営化事業チームリーダーを経て郷里にUターン、2017年株式会社MK総合研究所を起業、代表取締役所長。2024年より北九州市空港成長戦略担当参与。